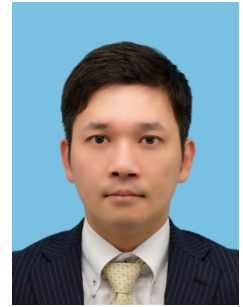


令和5年12月30日現在

履歴書

太田 真理 (おおた しんり)
生年月日：1987年3月29日 (36歳)
国籍：日本 出身地：山口県



所属

九州大学大学院人文科学研究院文学部門 言語学講座 准教授
〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744
ohta@lit.kyushu-u.ac.jp

Phone & Fax: 092-802-5023

学歴

2005年3月 私立ラ・サール高等学校普通科卒業
2005年4月 東京大学文科 III 類入学
2007年3月 同修了
2007年4月 東京大学教養学部生命・認知科学科認知行動科学分科進学
2009年3月 同卒業
2009年4月 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻生命環境科学系修士課程入学
2011年3月 同修了
2011年4月 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻生命環境科学系博士課程進学
2014年3月 同修了 博士 (学術)

職歴

2011年7月～12月 東京大学博士課程研究遂行協力制度委嘱者
2012年4月～2014年3月 日本学術振興会特別研究員 DC2
2014年4月～2016年3月 東京大学大学院総合文化研究科 特任研究員
2016年4月～2016年9月 順天堂大学大学院医学研究科神経生理学研究室 助教
2016年10月～ 順天堂大学大学院医学研究科神経生理学研究室 非常勤助教
2016年10月～2022年11月 九州大学大学院人文科学研究院文学部門言語学講座 講師
2017年2月～2018年3月 日本学術振興会海外特別研究員 (ニューヨーク大学言語学科)
2017年10月～ 九州大学数理・データサイエンス教育研究センター 複担教員
2018年3月～ ニューヨーク大学言語学科 訪問研究員
2020年8月～2022年9月 九州大学ダイバーシティ・スーパーグローバル教員育成研修 (SENTAN-Q) 研修生
2022年4月～ 国立国語研究所 共同研究員
2022年4月～ 九州大学未来創成科学者育成プロジェクト 「生物と生命」コース 担当教員
2022年12月～ 九州大学大学院人文科学研究院文学部門言語学講座 准教授

現在に至る

所属学会

日本語学会 (2009～) 日本神経科学学会 (2010～)
Society for the Neurobiology of Language (2011～) 日本音韻論学会 (2014～)

研究費獲得状況

2011年7月～12月 東京大学大学院博士課程研究遂行協力制度 奨励費 研究代表：太田真理

令和5年12月30日現在

- 「MEGおよびDTIを用いた統辞構造の処理に関わる脳内ネットワークの解明」30万円
2012年度～2013年度 科学研究費補助金 特別研究員奨励費 12J08931 研究代表：太田真理
「脳磁図とトラクトグラフィによる文構造を処理する領野間の機能的・解剖学的結合の解明」200万円
2015年度～2016年度 科学研究費補助金 若手研究 (B) 15K16733 研究代表：太田真理
「日本語とカクチケル語の比較研究による言語の普遍性と多様性の神経基盤の解明」156万円 (直接経費 120万円)
2016年度～2017年度 日本学術振興会海外特別研究員 研究代表：太田真理
「動詞の形態統語構造を処理する神経基盤の解明：脳磁図を利用した日英語対照研究」1051万円
2016年度～2018年度 日本学術振興会特別研究員 PD (辞退) 研究代表：太田真理
「ニューロフィードバックを利用した英語の音韻学習の神経基盤の解明」
2017年度～2021年度 数理・データサイエンス教育研究センター研究費 4000万円
2018年度～2021年度 科学研究費補助金 新学術領域「共創的コミュニケーションのための言語進化学」17H06379 研究代表：藤田耕司 研究分担：太田真理
「言語の起源・進化研究の理論的枠組み」1461.5万円 (直接経費 1145万円)
2018年度 九州大学 若手研究者研究環境整備経費
「人文科学研究におけるデータサイエンスのための共同実験室の整備」 930.3万円
2019年度～2022年度 科学研究費補助金 基盤研究 (B) 19H01256 研究代表：太田真理
「理論・モデル・実験を統合した言語の神経基盤の解明」1742万円 (直接経費 1340万円)
2019年度～2022年度 九州大学 QRプログラム つばさプロジェクト 研究代表：太田真理
「言語学・情報科学・数理科学を融合した脳内言語処理過程の実証」405万円
2020年度～2022年度 九州大学 ダイバーシティ・スーパーグローバル教員育成研修
研究費・RA経費・海外渡航費 300万円
2020年度 九州大学 QRプログラム わかばチャレンジ 研究代表：山田絵美 研究分担：太田真理
「言葉を予期している時の神経活動の解明」90万円
2021年度～2023年度 科学研究費補助金 挑戦的研究 (萌芽) 21K18560 研究代表：太田真理
「脳活動の変化は言語学習を促進するか？—脳波フィードバックによる検討—」637万円 (直接経費 490万円)
2021年度～2023年度 科学研究費補助金 基盤研究 (S) 19H05589 研究代表：小泉政利 研究分担：太田真理
「OS言語からみた「言語の語順」と「思考の順序」に関するフィールド認知脳科学的研究」162.5万円 (直接経費 125万円)
2022年度～2027年度 数理・データサイエンス教育研究センター研究費 4800万円
2022年度～2024年度 公益財団法人吉田学術教育振興会 令和4年度学術奨励金 研究代表：太田真理
「経頭蓋電気刺激法と脳波計測を統合した言語リハビリテーション技術の確立」200万円
2022年度～2023年度 公益財団法人住友財団 2022年度基礎科学研究助成 研究代表：太田真理
「経頭蓋電気刺激と脳波計測を統合した外国語学習の神経基盤の解明」100万円
2023年度～2027年度 科学研究費補助金 基盤研究 (S) 23H05493 研究代表：酒井弘 研究分担：太田真理
「人間の記号処理能力の基盤を探る-言語の形式と意味をつなぐ認知神経システムの解明」364万円 (直接経費 280万円)
2023年度～2025年度 科学研究費補助金 基盤研究 (A) 23H00501 (基盤研究 (S) 採択のため辞退) 研究代表：酒井弘 研究分担：太田真理

令和5年12月30日現在

「脳磁図と頭蓋内脳波の時間分解 MVP 解析による言語の形式と意味を繋ぐシステムの解明」156万円（直接経費120万円）

2023年度 九州大学 戦略的パートナーシップ候補大学との研究者ネットワーク形成推進プログラム
研究代表：太田真理

「理論と実験を統合した言語学研究の実現に向けた日韓研究者ネットワークの構築」70万円

2023年度 九州大学 総合知のプラットフォームによる研究・教育支援 研究代表：太田真理

「脳磁図を用いた非侵襲的な脳機能マッピング法の開発」100万円

2023年度～2024年度 公益財団法人テルモ生命科学振興財団 2023年度 III 研究助成金 研究代表：太田真理

「経頭蓋時間干渉刺激による難読症のリハビリテーション技術の開発」200万円

2024年度～2025年度 公益財団法人中谷医工計測技術振興財団 2023年度技術開発研究助成（奨励研究） 研究代表：太田真理

「経頭蓋時間干渉刺激と脳機能イメージングによる脳の非侵襲的可塑性誘導技術の確立」400万円

研究経験

2007年9月～2009年3月 東京大学教養学部生命・認知科学科 卒業研究

指導教官：酒井邦嘉准教授、繁榎算男教授

埋め込み構造の処理に対する左尾状核頭の役割を fMRI により研究した。

2009年4月～2012年3月 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻生命環境科学系 修士研究

指導教官：酒井邦嘉教授、共同研究者：福井直樹教授（上智大学）

文法処理に関係する機能的ネットワークを fMRI により研究した。

2012年4月～2014年3月 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻生命環境科学系 日本学術振興会特別研究員 DC2、指導教官：酒井邦嘉教授、共同研究者：福井直樹教授（上智大学）

1. 階層的な統語構造を処理する機能的・解剖学的ネットワークを fMRI、DCM、DTI を用いて特定した (Ohta et al., 2013, *PLOS ONE*; Ohta et al., 2013, *Front. Behav. Neurosci.*)。
2. 神経膠腫患者と健常者における言語の文法関連ネットワークの機能的・解剖学的な変化を偏相関分析や DTI を用いて研究した (Kinno et al., 2014, *Brain*; Kinno et al., 2015, *SpringerPlus*)。

2014年4月～2016年3月 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻相関基礎科学系 CREST 特任研究員、PI: 酒井邦嘉教授、共同研究者：小泉政利准教授（東北大学）、金野竜太講師（昭和大学）

1. VOS 語順が基本語順であり、様々な語順を文法的に許すカクチケル・マヤ語を対象に、fMRI によって左下前頭回の活動が移動現象により選択的に上昇することを発見した (Ohta et al., 2017, *Front. Psychol.*)。
2. 日本語の複合語で生じる連濁現象を予測可能な音韻的・意味的要因を、ロジスティック回帰分析を用いて特定した（太田 2015, 音韻研究、太田・太田 2016, 国立国語研究所論集）。

2016年4月～2016年9月 順天堂大学大学院医学研究科神経生理学 助教、PI: 小西清貴教授

1. Stop-signal 課題と安静時 fMRI を組み合わせて反応抑制に係る神経ネットワークを研究した (Osada et al. 2019, *J. Neurosci.*)。
2. 4 連発経頭蓋磁気刺激を用いて運動野の神経可塑性を研究した。

2017年2月～2018年3月 New York University, Graduate School of Arts and Sciences, Department of Linguistics 日本学術振興会海外特別研究員、PI: Alec Marantz 教授

MEG と計算モデルを用いた日本語自他交替動詞の形態統語処理の神経基盤を研究した。

2016年10月～現在に至る 九州大学大学院人文科学研究院 講師（太田研究室を主宰）

脳波・脳磁図・MRI と行動実験を利用した、統語計算の神経基盤の研究を進めている。

興味・関心のある研究テーマ

- 言語（特に統語論と形態論）の神経基盤の解明

令和5年12月30日現在

- 神経科学実験を利用した理論言語学と認知神経科学の統合
- 言語の学習・獲得に伴う脳の機能的変化および構造的変化の検証

実験・解析技術

- fMRI 実験および解析（使用ソフトウェア：SPM, FSL, MRIcron）
 - 一般線形モデル、動的因果モデル (dynamic causal modeling, DCM)、multi-voxel pattern analysis (MVPA) を含む解析手法。
- 構造 MRI 解析（使用ソフトウェア：FSL, FreeSurfer, Caret）
 - 拡散テンソル画像法 (diffusion tensor imaging, DTI)、voxel-based morphometry (VBM)、voxel-based lesion-symptom mapping (VLSM)、T1w/T2w 比に基づくミエリンの可視化等の解析。
- EEG/MEG、TMS 実験および解析（使用ソフトウェア：SPM, Fieldtrip, MNE-Python, eelbrain）
- 多変量解析（使用ソフトウェア：MATLAB, R, SPSS, Python）
 - 構造方程式モデリング (structural equation modeling, SEM)、一般化線形モデル (generalized linear model, GLM)、サポートベクターマシンを利用した解析を実施。
- 刺激提示ソフトウェア Presentation, PsychoPy を使用した fMRI・MEG 実験および行動実験を実施。

教育経験

指導教員

大学院生

- 2018年10月～2023年3月 Daniel C. Gallagher
2018年10月～2023年3月 中島 潤 (日本学術振興会特別研究員 DC2)
2020年4月～現在 山口 航輝 (JST 次世代研究者挑戦的研究プログラム生)
2023年4月～現在 Jananeh Shalpoush (文部科学省国費外国人留学生)
2023年4月～現在 Alaa Mohamed Salem Abouzeid (文部科学省国費外国人留学生)
2023年4月～現在 江頭 徹

学部生

- 2018年10月～2020年3月 岩下 千咲
2018年10月～2021年9月 栗林 真生
2018年10月～2020年3月 前野 一喜
2018年10月～2020年3月 村田 葵
2019年10月～2021年3月 大石 和加奈
2019年10月～2021年3月 久保 善英
2019年10月～2021年3月 深江 由衣
2019年10月～2022年3月 松本 恭祐
2020年10月～2022年3月 相澤 裕
2020年10月～2022年3月 江頭 徹
2020年10月～2022年3月 小森 藍子
2020年10月～2022年3月 田中 颯真
2020年10月～2022年3月 深見 伶那
2021年10月～2023年3月 秋永 流我
2022年10月～現在 木下 滉晴
2022年10月～現在 野田 晏伎
2022年10月～現在 羽矢 杏奈
2022年10月～現在 藤田 紗矢
2022年10月～現在 吉井 七海
2023年10月～現在 生永 万実

令和5年12月30日現在

2023年10月～現在	高山 亜子
研究生	
2018年4月～2018年9月	Daniel C. Gallagher
2021年4月～2022年3月	百武 理子
2021年10月～2023年3月	Alaa Mohamed Salem Abouzeid (文部科学省国費外国人留学生)
2022年4月～2023年3月	Jananeh Shalpoush (文部科学省国費外国人留学生)
2023年1月～現在	田中 陸 (QFC-SP リサーチ生・長崎県立五島高等学校)
2023年8月～2023年8月	加藤 あいか (QURIES プログラム受講生・筑紫女学園高等学校)
2023年8月～2023年8月	佐藤 詩織 (QURIES プログラム受講生・福岡県立福岡中央高等学校)
2023年10月～現在	崔 雅馨
2023年10月～現在	詹 楓

訪問学生

2018年10月～2019年3月	チョン・チャンソル (韓国・東義大学校)
2019年4月～2019年9月	王 梓園 (中国・華中科技大学)
2019年10月～2020年9月	イスカンデル・ザリフォフ (ロシア・サンクトペテルブルグ大学)
2024年4月～2024年9月	蔡 雨夢 (中国・大連理工大学)
2024年4月～2024年9月	施 智森 (中国・同濟大学)

大学院

- 2016年5月～6月 順天堂大学大学院医学研究科修士課程
基礎医科学概論Ⅰ (オムニバス講義) : 担当「中枢神経系の基本構造」
- 2016年10月～2017年2月 九州大学大学院人文科学府
理論言語学特論Ⅳ (講義)「言語の脳科学入門」
理論言語学研究Ⅳ (演習)「生物言語学」
言語学研究Ⅱ (演習)「言語学研究Ⅱ」
- 2018年3月 九州大学大学院人文科学府
実験言語学特論Ⅲ (集中講義)「理論言語学と認知神経科学について」
- 2018年4月～7月 九州大学大学院人文科学府
現代文化論C (オムニバス講義) : 担当「神経言語学の現在」
言語学研究Ⅰ (演習)「言語学研究Ⅰ」
実験言語学特論Ⅰ (講義)「言語の脳科学入門」
実験言語学研究Ⅲ (演習)「生物言語学」
論文指導「修士論文指導」
博士演習「博士論文指導」
- 2018年10月～2019年2月 九州大学大学院人文科学府
言語学研究Ⅱ (演習)「言語学研究Ⅱ」
実験言語学特論Ⅱ (講義)「言語の脳科学入門」
実験言語学研究Ⅳ (演習)「生物言語学」
論文指導「修士論文指導」
博士演習「博士論文指導」
- 2019年4月～6月 九州大学大学院人文科学府
現代文化論C (オムニバス講義) : 担当「神経言語学の現在」
言語学研究Ⅰ (演習)「言語学研究Ⅰ」
実験言語学特論Ⅰ (講義)「言語の脳科学入門」
実験言語学研究Ⅲ (演習)「生物言語学」
論文指導「修士論文指導」

令和5年12月30日現在

- 博士演習「博士論文指導」
2019年10月～12月 九州大学大学院人文科学府
言語学研究法Ⅱ（演習）「言語学研究法」
実験言語学特論Ⅱ（講義）「言語の脳科学入門」
実験言語学研究Ⅳ（演習）「生物言語学」
論文指導「修士論文指導」
博士演習「博士論文指導」
- 2020年5月～6月 九州大学大学院人文科学府
言語学研究法Ⅰ（演習）「言語学研究法」
実験言語学特論Ⅲ（講義）「言語の脳科学入門」
実験言語学研究Ⅰ（演習）「生物言語学」
論文指導「修士論文指導」
博士演習「博士論文指導」
- 2020年10月～2021年2月 九州大学大学院人文科学府
現代文化論C（オムニバス講義）：担当「神経言語学の現在」
言語学研究法Ⅱ（演習）「言語学研究法」
実験言語学特論Ⅳ（講義）「言語の脳科学入門」
実験言語学研究Ⅱ（演習）「生物言語学」
論文指導「修士論文指導」
博士演習「博士論文指導」
- 2021年4月～6月 九州大学大学院人文科学府
言語学研究法Ⅰ（演習）「言語学研究法」
実験言語学特論Ⅰ（講義）「言語の脳科学入門」
実験言語学研究Ⅲ（演習）「生物言語学」
論文指導「修士論文指導」
博士演習「博士論文指導」
- 2021年10月～2022年2月 九州大学大学院人文科学府
言語学研究法Ⅱ（演習）「言語学研究法」
実験言語学特論Ⅱ（講義）「言語の脳科学入門」
実験言語学研究Ⅳ（演習）「生物言語学」
論文指導「修士論文指導」
博士演習「博士論文指導」
- 2022年4月～7月 九州大学大学院人文科学府
言語学研究法Ⅰ（演習）「言語学研究法」
論文指導「修士論文指導」
博士演習「博士論文指導」
- 2022年6月～7月 九州大学大学院人文科学府
実験言語学特論Ⅰ（講義）「言語脳科学の最前線」
実験言語学研究Ⅲ（演習）「生成文法の基本文献を読む」
- 2022年10月～2023年2月 九州大学大学院人文科学府
言語学研究法Ⅱ（演習）「言語学研究法」
実験言語学特論Ⅱ（講義）「言語の脳科学入門」
実験言語学研究Ⅳ（演習）「生物言語学」
論文指導「修士論文指導」
博士演習「博士論文指導」
- 2023年4月～2023年7月 九州大学大学院人文科学府

令和5年12月30日現在

言語学研究法Ⅰ（演習）「言語学研究法」
実験言語学特論ⅠⅡ（講義）「言語の脳科学の最前線」
実験言語学研究Ⅰ（演習）「生成文法の基本文献を読む」
論文指導「修士論文指導」
博士演習「博士論文指導」
2023年10月～2024年2月 九州大学大学院人文科学府
言語学研究法Ⅱ（演習）「言語学研究法」
実験言語学特論Ⅳ（講義）「言語の脳科学入門」
実験言語学研究Ⅱ（演習）「生物言語学」
論文指導「修士論文指導」
博士演習「博士論文指導」

学部

2016年4月 順天堂大学医学部
医学研究Ⅱ（演習）：英語論文を読み、内容をスライドで発表
2016年6月～7月 順天堂大学医学部
基礎ゼミナール（演習）：脳活動の検出に最適なMRI撮影法の検討
2016年10月～2017年2月 九州大学文学部
言語学・応用言語学演習Ⅹ（講義・演習）「言語研究のための統計入門」
2016年11月 順天堂大学医学部
動物生理学（細胞膜、感覚、運動、統合機能）（講義）：担当「大脳連合野」、「睡眠と脳波」
2018年3月 九州大学文学部
言語学・応用言語学講義Ⅴ（集中講義）「理論言語学と認知神経科学について」
2018年4月～7月 九州大学基幹教育科目
文学・言語学入門（講義）「神経言語学入門：言語理解、言語獲得、言語障害について」
2018年4月～7月 九州大学文学部
言語学概論（オムニバス講義）：担当「脳科学から見た形態論」、「脳科学と統語論」、「言語学と統計」
言語学・応用言語学講義Ⅹ（講義）「言語の脳科学入門」
2018年10月～2019年2月 九州大学文学部
人文学Ⅲ（オムニバス講義）：担当「言葉とコミュニケーションを支える脳の仕組み」
言語学・応用言語学演習ⅩⅩ（演習）「言語研究のための計測・統計」
言語学・応用言語学実習Ⅰ「卒論指導」
2018年11月 東洋学園大学グローバル・コミュニケーション学部
英語学ゼミⅠ：担当「言語の脳科学入門：なぜ言語学でも脳が大切なのか？」
2019年4月～6月 九州大学文学部
言語学概論（オムニバス講義）：担当「脳科学から見た形態論」、「脳科学と統語論」、「言語学と統計」
言語学・応用言語学講義Ⅴ（講義）「言語の脳科学入門」
言語学・応用言語学実習Ⅱ「卒論指導」
2019年6月 東洋学園大学グローバル・コミュニケーション学部
英語音声学：担当「音韻論（の神経基盤）」
2019年10月～12月 九州大学文学部
人文学基礎Ⅱ（オムニバス講義）「文学と人間科学のさまざまな研究領域」：担当「脳からみた言葉の不思議」
言語学・応用言語学演習Ⅴ（演習）「言語研究のための計測・統計」

令和5年12月30日現在

- 言語学・応用言語学実習 I「卒論指導」
2020年5月～6月 九州大学文学部
言語学・応用言語学講義 X（講義）「言語の脳科学入門」
言語学・応用言語学実習 II「卒論指導」
2020年10月～2021年2月 九州大学基幹教育科目
課題協学科目（講義・演習）「ヒト・昆虫・機械のメカニズム解明とその応用：言語の脳内メカニズムの解明とその応用」
2020年10月～2021年2月 九州大学文学部
人文学 III（オムニバス講義）「コミュニケーションと共同体」：担当「言葉とコミュニケーションを支える脳の仕組み」
言語学概論（オムニバス講義）：担当「脳科学から見た形態論」、「脳科学と統語論」、「言語学と統計」
言語学・応用言語学演習 X（演習）「言語研究のための計測・統計」
言語学・応用言語学実習 I「卒論指導」
2021年4月～6月 九州大学文学部
言語学概論（オムニバス講義）：担当「脳科学から見た形態論」、「脳科学と統語論」、「言語学と統計」
言語学・応用言語学講義 XV（講義）「言語の脳科学入門」
言語学・応用言語学実習 II「卒論指導」
2021年10月～2022年2月 九州大学文学部
言語学・応用言語学演習 XV（演習）「言語研究のための計測・統計」
言語学・応用言語学実習 I「卒論指導」
2022年4月～2022年7月 九州大学文学部
言語学概論（オムニバス講義）：担当「言語学と統計 1」、「言語学と統計 2」、「脳科学から見た音韻論」、「脳科学から見た形態論」、「脳科学から見た統語論」
言語学・応用言語学実習 II「卒論指導」
2022年7月 九州大学文学部
言語学・応用言語学講義 X（集中講義）「言語の脳科学入門」
2022年10月～2023年2月 九州大学基幹教育科目
文学・言語学入門（講義）「言語の脳科学入門」
2022年10月～2023年2月 九州大学文学部
人文学基礎 II（オムニバス講義）「文学と人間科学のさまざまな研究領域」：担当「脳からみた言葉の不思議」
人文学 III（オムニバス講義）「コミュニケーションと共同体」：担当「言葉とコミュニケーションを支える脳の仕組み」
言語学・応用言語学演習 XX（演習）『「言語の脳科学」を読む』
言語学・応用言語学実習 I「卒論指導」
2023年4月～2023年7月 九州大学文学部
言語学概論（オムニバス講義）：担当「言語学と統計 1」、「言語学と統計 2」、「脳科学から見た音韻論」、「脳科学から見た形態論」、「脳科学から見た統語論」
言語学・応用言語学講義 V「言語の脳科学入門」
言語学・応用言語学実習 II「卒論指導」
2023年10月～2024年2月 九州大学文学部
言語学・応用言語学演習 V（演習）「言語研究のための計測・統計」
言語学・応用言語学実習 I「卒論指導」

令和5年12月30日現在

受賞等

1. JAIST-EELC2010 旅費・交通費支給、2010年3月
2. 3rd ICPP Travel award (December 2013)
3. NEURO2022 若手道場優秀発表賞 (Daniel Gallagher さん、松本恭輔さんと共同受賞) (July 2022)

その他の活動

学外活動

- 2020年10月～現在 Arclev academia strategists network
2020年12月～現在 ガツガツ若手ワーキンググループ AirBridge

学会委員

- 2021年4月～現在 日本言語学会常任委員
2021年4月～2023年3月 日本言語学会倫理委員

雑誌編集委員

- 2019年～2023年 Review Editor (Language Sciences in *Frontiers in Psychology*)
2019年～2023年 Review Editor (Language Sciences in *Frontiers in Communication*)
2023年～現在 Review Editor (Psychology of Language in *Frontiers in Psychology*)

査読経験

- 2010年 *NeuroImage*.
2011年 *Cerebral Cortex*; *NeuroImage*.
2012年 *NeuroImage*.
2015年 *Biolinguistics*; *Neuropsychologia*; 言語研究
2017年 *Frontiers in Psychology*.
2019年 *Frontiers in Psychology* (×4); *Brain Research*.
2020年 *Frontiers in Psychology* (×2); *Frontiers in Human Neuroscience*.
2021年 *Frontiers in Psychology* (×2).
2022年 *Issues in Japanese Psycholinguistics: From Comparative Perspectives*; *Joint Conference on Language Evolution* (×3); *Frontiers in Communication*; *Language, Cognition and Neuroscience*.
2023年 *Frontiers in Psychology* (×2); *Frontiers in Language Sciences*; *Architectures and Mechanisms for Language Processing Asia 2023* (×6), *EVOLANG2024*.

翻訳校閲

「チョムスキー言語学講義：言語はいかにして進化したか」

博士学位論文審査委員

- 2019年 郭 楊 (長崎外国語大学)：副査
2019年 陳 陸琴 (言語学講座)：副査
2019年 高木 留美 (英語学・英文学講座)：副査
2021年 林 慎将 (英語学・英文学講座)：副査
2022年 占部 由子 (言語学講座)：副査
2022年 増田 正彦 (言語学講座)：副査
2022年 王 丹凝 (言語学講座)：副査
2023年 Daniel C. Gallagher (言語学講座)：主査
2023年 成 儒彬 (大学院人間環境科学府)：副査
2023年 中島 潤 (言語学講座)：主査

教育講演

Japanese Association of Scholars in Science Meeting 「言語学としての神経科学・神経科学としての言語学」
2017年12月16日

令和5年12月30日現在

朝日カルチャーセンター九州大学文学部提携講座「ことばと人」：担当「言語をつかさどる脳」
2018年5月19日
英語音声指導協会 2018 夏のワークショップ「言語獲得・言語学習を支える脳」2018年8月26日
学術スキルワークショップ 2018年10月～2019年3月
福岡県立福岡中央高等学校出張講義「言葉は不思議：言語の脳科学入門」2019年12月5日
山口県教育委員会高校教育課「やまぐちで学ぶ！高校教育魅力向上事業」ニューフロンティアセミナー（第2回未来発見講座①）「言葉と脳について」2020年10月17日
朝日カルチャーセンター九州大学文学部提携講座「人間科学の最前線」：担当「言語脳科学の最前線」2021年2月20日
福岡県立明善高等学校令和3年度大学セミナー「言語を脳科学する：言語の脳科学入門」2021年7月8日
九州大学未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP)プライマリー「言語の脳科学：脳から見た言葉の不思議」2022年7月24日
明治学園中学・高等学校 出前講義「脳から言葉の不思議に迫る」2022年7月27日
佐賀県立佐賀西高等学校 学問研究講座「脳科学で言葉の不思議に挑む」2022年10月21日
朝日カルチャーセンター九州大学文学部提携講座「人間科学が捉える時間と空間」：担当「言葉を生み出す脳のしくみに脳活動の時間・空間から迫る」2022年12月17日
ワークショップコレクション in 福岡 2023 小学生向け九州大学特別講義「脳波で言葉の不思議がわかる!」2023年3月26日
九州大学アジア・アセアニア研究教育機構ブラウンバッグセミナー「言語学 × 脳科学で言葉と脳の謎に挑む」2023年6月16日
九州大学未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP)プライマリー「言語の脳科学：脳から見た言葉の不思議」2023年7月30日
令和5年度馬出地区4部局合同男女共同参画FD「SENTAN-Qでの学び：海外PIとの交渉をどう進めたか？」2023年8月24日
鹿児島県立鶴丸高等学校 出前講義「言葉と脳：言語学と脳科学で言葉の謎に挑む」2023年10月27日

学会活動

日本神経科学学会一般口演「言語機能」座長, 2015年7月
日本神経科学学会一般口演「言語とコミュニケーション(2)」座長, 2018年7月
日本言語科学学会シンポジウム「脳科学の言語科学への貢献」シンポジスト、2019年7月
日本言語学会公開シンポジウム「言語脳科学が切り開く言語学の未来」オーガナイザー、2022年6月
Seminar at Dongguk University 共同オーガナイザー、2022年8月
人文情報学大学院発足記念シンポジウム「データサイエンスと人文の協働による研究・教育の可能性—九州大学数理・データサイエンス教育研究センターの取り組み—」オーガナイザー、2023年3月
九州大学・ソウル大学校合同言語学研究会「理論と実験を統合した言語学研究の実現に向けた日韓研究者ネットワークの構築」オーガナイザー、2024年1月

学内委員会

2017年10月～現在 数理・データサイエンス教育研究センター運営委員（九州大学数理・データサイエンス教育研究センター）
2018年4月～2019年3月 キャンパス問題検討委員（人文科学研究院）
2018年4月～2022年3月 学生支援委員（人文科学研究院）

令和5年12月30日現在

2018年4月～2020年3月 教員親睦委員 (人文科学研究院)
2019年4月～2023年3月 将来計画委員 (人文科学研究院)
2020年6月～2020年12月 大学院定員充足検討ワーキンググループ (人文科学研究院)
2021年4月～現在 シラバス管理者 (人文科学研究院)
2021年4月～現在 情報化委員 (人文科学研究院)
2022年4月～現在 学務委員 (人文科学研究院)
2022年4月～現在 QFC-SP 実施委員 (九州大学未来創成科学者育成プロジェクト)
2023年4月～現在 教員親睦委員 (人文科学研究院)
2023年4月～2023年6月 QFC-SP 選抜委員会委員 (九州大学未来創成科学者育成プロジェクト)